

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

インフルエンザ (新型インフルエンザ) 情報

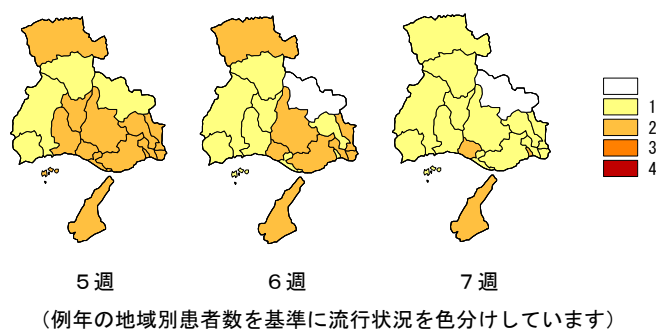
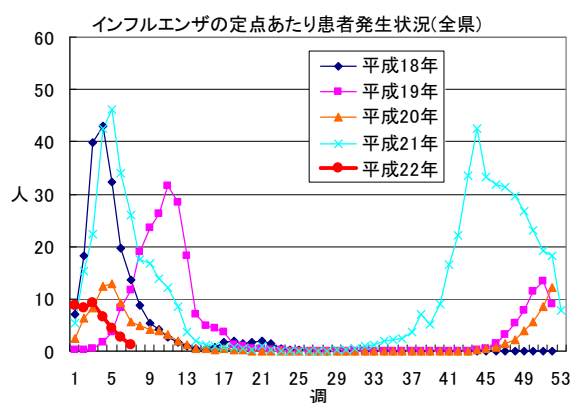
インフルエンザの定点あたり患者数は **1.27 人** (先週 2.71 人) と減少しました。定点あたり 10 人以上の地域は先週と同じくありません。流行はかなり下火となりましたが、新型インフルエンザはこの先の流行の予測が付きません。また、神戸市内をはじめ近畿圏内では B 型インフルエンザウイルスの分離・検出が報告されています。引き続き今後の動向に注意してください。

新型インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。受診に際しての注意点等は次のホームページをご覧ください。

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/pa18/press.html> (兵庫県新型インフルエンザ記者発表資料)

<http://web.gg.pref.hyogo.lg.jp/hyogo/ap/gg/men/pwtpmenult01.aspx> (兵庫県医療機関情報システム)

インフルエンザの定点あたり患者発生状況 (全県)



新型インフルエンザに関する情報は次のホームページ (HP) でもご覧ください。

- 厚生労働省のHP (<http://www.mhlw.go.jp/>)
- 厚生労働省 : 新型インフルエンザ最新情報 (<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/index.html>)
- 国立感染症研究所感染症情報センターのHP (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)
- 兵庫県のHP : 新型インフルエンザ対策について (<http://web.pref.hyogo.jp/ac02/influenza.html>)

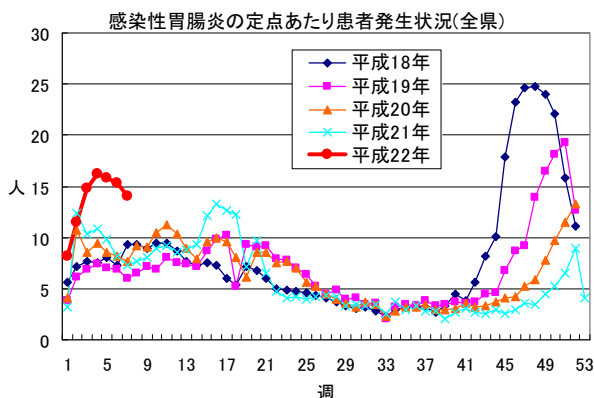
定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

順位	疾病名	定点あたり患者数		増減	順位	疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1 位	感染性胃腸炎	14.02	15.36	-1.34	6 位	流行性耳下腺炎	0.73	0.39	+0.34
2 位	水痘	1.39	1.46	-0.07	7 位	突発性発しん	0.43	0.43	±0.00
3 位	A 群溶血性球菌咽頭炎	1.30	1.09	+0.21	8 位	流行性角結膜炎	0.31	0.31	±0.00
4 位	インフルエンザ	1.27	2.71	-1.44	9 位	手足口病	0.25	0.19	+0.06
5 位	RS ウイルス感染症	1.27	1.76	-0.49	10 位	咽頭結膜熱	0.18	0.16	+0.02

定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症です）

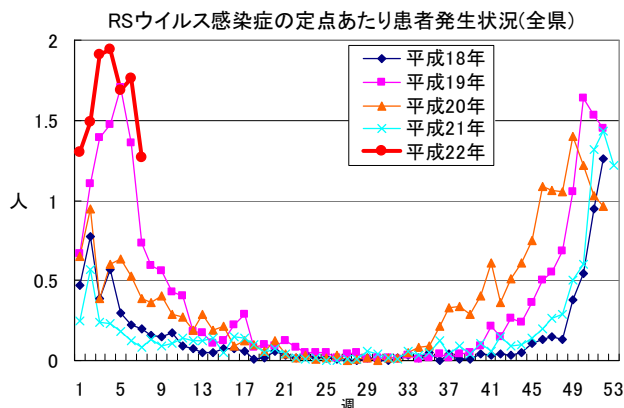
感染性胃腸炎

3週連続で患者数が減少しましたが、例年の同時期と比べて患者数が多くなっています。ノロウイルスが病原体であることが多いと考えられますが、注意が必要です。



RSウイルス感染症

患者数は例年と比べて多くなっています。しばらくは注意が必要です。



全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 18名 （神戸市8名、尼崎市2名、姫路市1名、西宮市2名、芦屋保健所管内1名、明石保健所管内2名、龍野保健所管内1名、赤穂保健所管内1名）
3類感染症	報告はありません。
4類感染症	テング熱 1名 （伊丹保健所管内；海外渡航者）
5類感染症	ウイルス性肝炎 1名 （西宮市；B型）、 麻しん 2名 （神戸市；ともに20歳代）
追加報告	結核 7名 （加東保健所管内3名、赤穂保健所管内2名、朝来保健所管内1名、洲本保健所管内1名）、 急性灰白髄炎 1名 （神戸市；ワクチン株由来）、 アメーバ赤痢 1名 （神戸市）

検査情報（兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センター）

姫路市内の医療機関を受診した**滲出性扁桃炎患者1名**（1歳）から**アデノウイルス2型**が分離されました。同じく**滲出性扁桃炎患者1名**（3歳）から**コクサッキーウイルスB1型**が分離されました。

目で見える動向（県内）

